

MonitorMix



V2.4 ユーザーガイド

はじめに

このたびは、iOS、Android用アプリケーション「MonitorMix」をダウンロードいただきありがとうございます。
「MonitorMix」は、RIVAGE PM/CL/QL/TF/DM3/DM5/DM7シリーズのMIX/MATRIX/AUXミックスをワイヤレスでコントロールできます。MonitorMixは最大10台（DM7接続時のみ48台）まで同時に使用でき、各演奏者が手元で自分のモニターミックスを作ることができます。その際は自分用に割り当てられたMIX/MATRIX/AUXバスのバランスだけが操作対象となるので、他の演奏者へのモニターミックスを誤って操作してしまう心配もありません。

ご注意

- このソフトウェアおよび取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。
- Apple、Appleロゴ、iPad、iPod touchは、米国および他国のApple Inc.の登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに	2	各部の名称と機能	13
ご注意.....	2	ツールバー	13
動作環境	4	FADER 画面	14
Wi-Fi の設定	4	グループ化されたチャンネルの操作	15
準備	5	EQ 画面	16
ミキサーのネットワークの設定	5	PAN 画面	17
スマートデバイスの Wi-Fi 設定	5	PERSONAL GROUP & ORDER 画面	18
MonitorMix の設定	8	GROUP NAME 画面	20
オフラインデモモード	8	SETTINGS 画面	21
ミキサーの選択と動作の開始	8	困ったときは	22
Split Side の選択	9		
PIN の設定と運用	11		
PIN の設定	11		
PIN の運用	12		

動作環境

OS	iOS 16以降、Android 9以降
ハードウェア	iPhone8以降 Android版は、Pixelを推奨
対応ミキサーとファームウェア	ヤマハRIVAGE PMシリーズ V7.00以降、CL/QLシリーズ V4.00以降、TFシリーズ V3.60以降、DM3シリーズ V1.12以降、DM7シリーズ V1.60以降、DM5シリーズ

Wi-Fi の設定

各機器の取扱説明書に従って、Wi-Fiアクセスポイントを設定してください。特別な設定は必要ありませんが、外部からネットワークへの侵入を防ぐためにWPA2のようなセキュリティをかけていただくことをおすすめします。

以下の設定を参考にしてください。

1. Wi-Fiネットワーク上で名前を設定します（これが「SSID」となります）。
2. セキュリティモード（例：WPA2）とパスワードを設定します。
3. ワイヤレスモード、ワイヤレスバンドを選択します（例：802.11n 2.4GHz）。
4. 可能であれば「Auto Channel Selection」を有効にします。
干渉が最小限におさえられたワイヤレスチャンネルが選択されます。

外部アンテナを複数使用すると、Wi-Fiアクセスポイントに接続しやすくなります。

準備

ミキサーのネットワークの設定

1. CAT5ケーブルを使って、ミキサーのネットワークポートとWi-Fiアクセスポイントを接続します。

AUTO-MDI/MDI-X機能のない古いアクセスポイントに接続するときは、クロスケーブルが必要になります。最近の機器の多くはAUTO-MDI/MDI-X機能をサポートしていますので、その場合はストレートケーブル、クロスケーブルいずれも使用できます。

2. イーサネットケーブルがWi-Fi機器のLANポートに接続されていることを確認してください。

(WANポートには接続しないでください。)

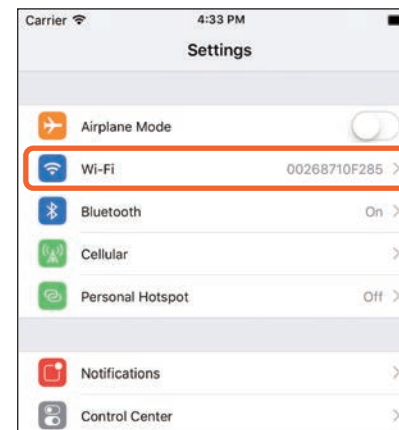
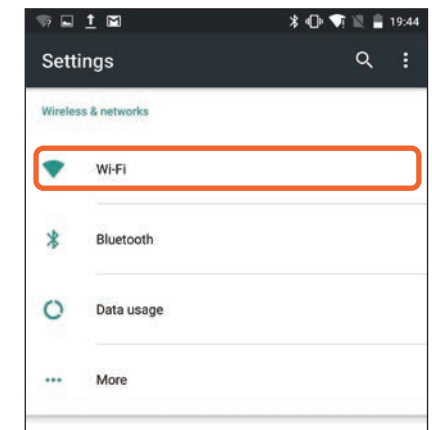
スマートデバイスのWi-Fi設定

DHCPまたは固定IPアドレスを使って、スマートデバイスの設定をします。

1. ホーム画面の[設定(Settings)]アイコンをタップします。



2. [Wi-Fi] を選択します。

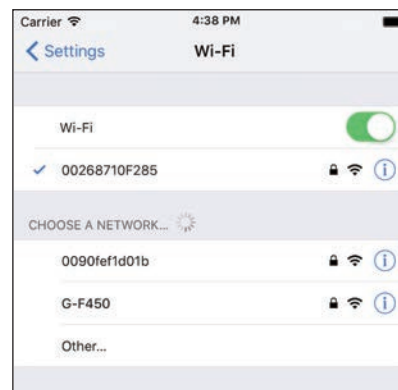
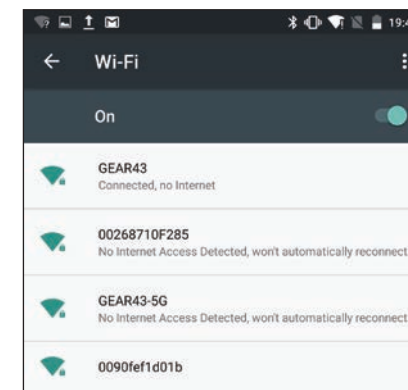
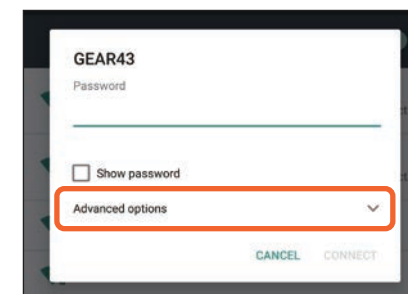


3. 有効なWi-Fiアクセスポイントの一覧から、接続したいWi-Fiアクセスポイントをタップします。

4. パスワードを求められた場合は、パスワードを入力します。

5. iOSの場合は、Wi-Fiアクセスポイントの[Information] ボタンをタップします。

Androidの場合は、パスワードを入力する画面にある[Advanced options] ボタンをタップします。



6. [DHCP]、または[Static]（固定IPアドレス）を選択します。

Static を選択した場合は下記のように設定します。

IP Address	ミキサーのIPアドレスの第4オクテットのみを変えたIPアドレスを入力（例：ミキサーのIPアドレスが「192.168.0.128」の場合、スマートデバイスには「192.168.0. 127 」のように入力します。）
Subnet Mask	「255.255.255.0」
Router	Wi-FiアクセスポイントのIPアドレスを入力 通常、Wi-Fi機器本体底面または取扱説明書に記載されています。
DNS	Wi-FiアクセスポイントのIPアドレスを入力

NOTE

- ミキサーで設定されている固定IPアドレスは、ミキサーのSETUP画面にあるNETWORK画面で確認できます。
RIVAGE PMシリーズの場合は、DSP ENGINE IP SETTINGSの設定を使います。
- RIVAGE PM/CL/QLシリーズ本体は固定IPアドレスのみ設定できます。Wi-Fi接続にDHCPを選択する場合は、DHCPサーバーやWi-Fiアクセスポイントが割り振るIPアドレスの範囲を、ミキサーで設定したIPアドレスと同じサブネットになるように設定してください。（例：ミキサーのIPアドレスが192.168.0.128の場合は、DHCPの範囲を192.168.0.2～192.168.0.127などにしてください。）
- 接続するすべての端末の固定IPアドレスは、重複しないようにしてください。

7. ホームボタンを押して[設定(Settings)]メニューを終了します。

NOTE

- Autoで接続する場合（[8ページ](#)）、IPアドレスについては、ミキサー本体と同じサブネットが設定されているかを確認してください。
- 上記の手順6を行ってもDHCPの設定が適用されない場合は、お使いのDHCPサーバーの設定を確認してください。または、固定IPアドレスを選択してOSを設定してください。

MonitorMix の設定

アイコンをタップして MonitorMix を起動します。



SELECT MIXER画面が表示されます。この画面では以下のようなことができます。

- ・ オフラインデモモードに入り、MonitorMixの機能やユーザーインターフェースを試すことができます。
- ・ ネットワーク内にあるミキサーを選択し、MonitorMixを開始します。

オフラインデモモード

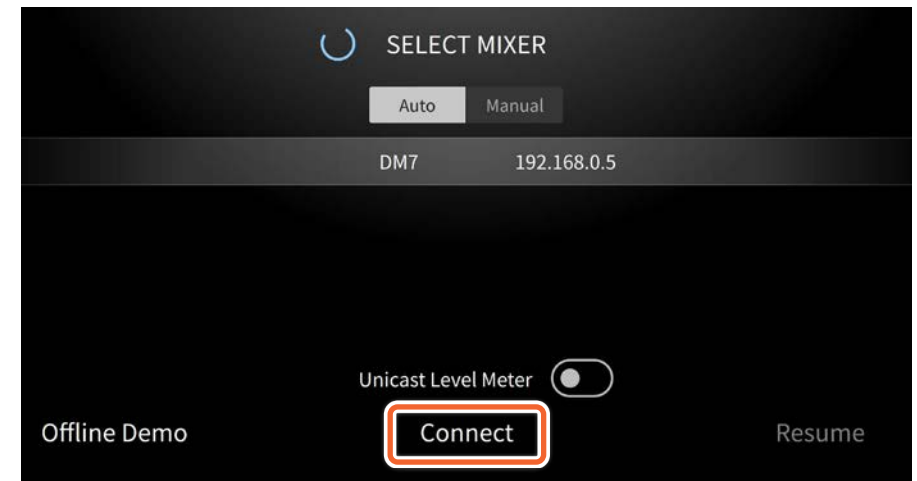
SELECT MIXER画面で[Offline Demo]をタップすると、ミキサーとMonitorMixが接続されていない（オフライン）状態でも、アプリケーションの使い方を確認できます。ただし、このモードではレベルメーターは表示せず、DM7のMIX9/10に接続しているものと仮定して動作します。また、グループの編集（[18ページ](#)）はできますが、保存されません。

ミキサーの選択と動作の開始

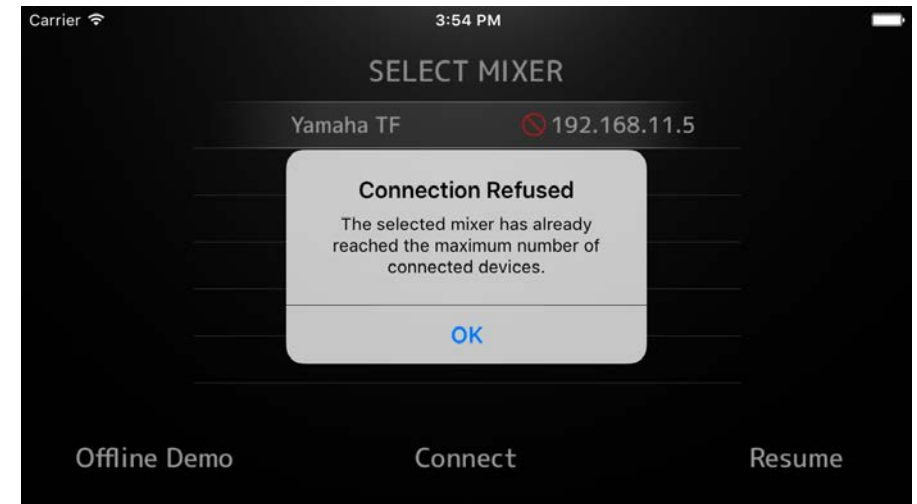
SELECT MIXER画面のリストからミキサーを選択して[Connect]をタップします。

[Auto/Manual]をタップすると、接続先のミキサーを自動検出するか、IP Addressを手動で設定するかを切り替えられます。

[Unicast Level Meter]をタップしてオンにすると、ミキサー（DM7シリーズ、DM5シリーズ）が異なるサブネット上にあってもレベルメーター情報を表示できます。（対応機種のみ有効）



ミキサーに接続されているMonitorMixがすでに最大数（合計10台、DM7接続時のみ48台）に達している場合は、IP Addressの左横に禁止マークが表示されます。また、禁止マークが表示されているミキサーを選んで[Connect] ボタンを押すと、接続できなかったことを示すメッセージが表示されます。

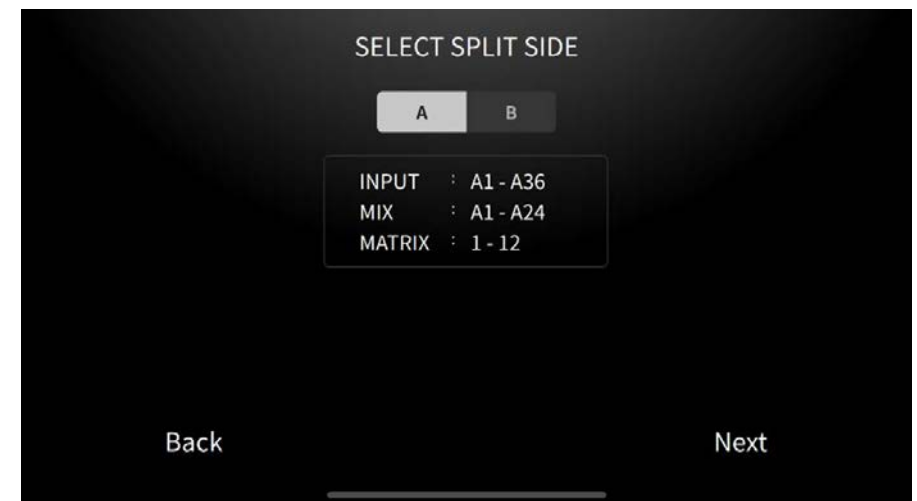


Split Side の選択

ミキサーがSplitモードのときの接続先を選択します（DM7のみ）。[A/B] ボタンをタップすると、Splitモードの接続先（A Side/B Side）を切り替えられます。画面には、選択した接続先のINPUTチャンネル、MIXチャンネル、MATRIXチャンネルの情報が表示されます。

[Next] をタップすると、選択した接続先のバス情報を取得します。

[Back] をタップすると、SELECT MIXER画面に戻ります。



MonitorMix がミキサーからバスの情報を取得する処理が終わると、SELECT BUS画面が表示されます。自分のモニターミックスに使用されるバスをリストから選択します。

[Select] をタップするとデータの同期を開始します。[Cancel] をタップすると、SELECT MIXER画面に戻ります。
データの同期が終わったら、FADER画面が表示され、MonitorMixの準備が完了します。

ミキサー（DM7シリーズ、DM5シリーズ）のBus Permission設定により指定したバスを表示できます。



PIN の設定と運用

各演奏者が自分以外のモニターミックスを誤って操作するのを防ぐために、ミキサーにPIN (Personal Identification Number) を設定して運用できます。

PIN の設定

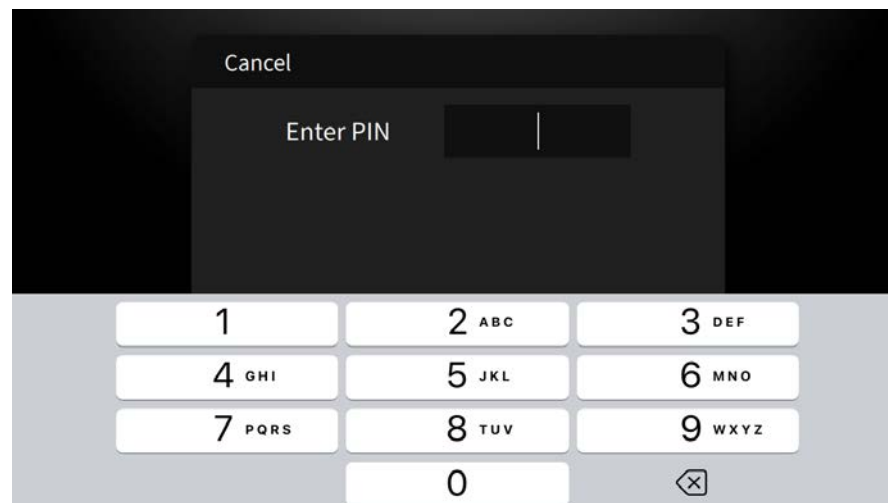
PINの設定と変更は、あらかじめミキサー側で行っておきます。

ミキサーのSETUP画面→NETWORK画面にある「PIN for MonitorMix」で設定します。

ミキサーでPINを設定したあと、MonitorMixのSELECT MIXER画面で、PINが設定されたミキサーを選択するとPIN認証画面が表示されます。

ミキサーで設定したPINが正しく入力されるとSELECT BUS画面が表示されます。誤ったPINが入力されるとエラーメッセージが表示されます。

ミキサー側でPINを設定していない場合は、PIN認証画面は表示されずそのままSELECT BUS画面に移動します。



PIN の運用

PINの運用例は下記のとおりです。いずれの場合も、PINを各演奏者には知らせずに運用します。

例 1. ミキサーエンジニアが演奏者用のスマートデバイスを用意する場合

ミキサーエンジニアがあらかじめスマートデバイスにMonitorMixをインストールして、Wi-Fi設定、PINの設定、演奏者用のバス選択を完了しておきます。

演奏者はMonitorMixが起動した状態でスマートデバイスを受け取り、モニターミックスを調整します。起動していない状態で演奏者が受け取ったときは、SELECT MIXER画面で[Resume]ボタンをタップすると、以前設定されたPINとバスで自動的に接続されます。

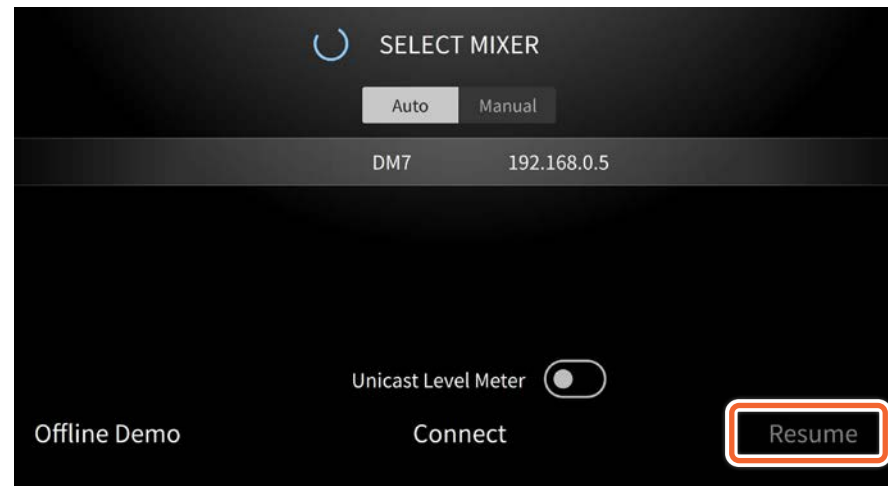
例 2. 演奏者のスマートデバイスを使用する場合

ミキサーエンジニアは、ミキサー本体とWi-Fiアクセスポイントを接続し、ミキサーにPINを設定しておきます。

演奏者がMonitorMixをダウンロードしてインストールしたあと、スマートデバイスをミキサーエンジニアに渡して、ミキサーエンジニアがWi-Fiとの接続をします。

ミキサーエンジニアがMonitorMixを起動して、ミキサーの選択とPINの入力をして、演奏者のバスを選択します。

完了したら演奏者にスマートデバイスを渡して、演奏者がモニターミックスを調整します。



各部の名称と機能

ツールバー

画面の切り替えやシーンの情報を表示します。



① [FADER/PAN] ボタン

タップするとFADER画面 ([14ページ](#)) またはPAN画面 ([17ページ](#)) が表示されます。

モニター対象のバスがモノラルの場合は、このボタンは表示されません。

② [Hide Unused Channels] ボタン

SETTINGS画面にある「Hide Unused Channels button behavior」の設定に従って、このボタンがオンのときに該当チャンネルが非表示になります。オフのときは、すべてのチャンネルが表示されます。

オンのときに、SENDをオフにしたり、SENDレベルを $-\infty$ にしたりしても、その瞬間にはチャンネルが非表示にはなりません。一度このボタンをオフにし、再度オンにすると、最新の状態が反映されて非表示に切り替わります。

③ [ONLINE/OFFLINE] ボタン

ミキサーとの接続状況を表示します。

オンラインのときにタップすると、ミキサーとの接続を切断する確認メッセージが表示されます。「No」をタップすると切断せずに確認メッセージが閉じます。「Yes」をタップすると切断してSELECT MIXER画面が表示されます。

オフラインのときにタップするとそのままSELECT MIXER画面が表示されます。

④ SCENE 情報表示

SCENEの番号と名前を表示します。ミキサー側でシーンリコールしたときは表示が更新されます。

⑤ [GROUP] ボタン

タップするとPERSONAL GROUP & ORDER画面 ([18ページ](#)) が表示されます。

⑥ [SETTINGS] ボタン

タップするとSETTINGS画面 ([21ページ](#)) が表示されます。

FADER 画面

各入力チャンネルからの自分のモニターバスへのセンドレベルを調整します。

① チャンネルフェーダー

各入力チャンネルからのセンドレベルを調節します。フェーダーの可動域のどの部分をドラッグしても操作できます。ドラッグ中に、操作しているチャンネルフェーダーの領域外に移動して上下にドラッグすると、より細かい単位で調節できます。

フェーダーを長押しすると、変更できないように(ロック) できます。ロックしたフェーダーには鍵マークが表示されます。

NOTE

モニターバスがFIXEDに設定されている場合は、センドレベルの編集ができません。長押しによるロックは、設定により無効にすることができます。

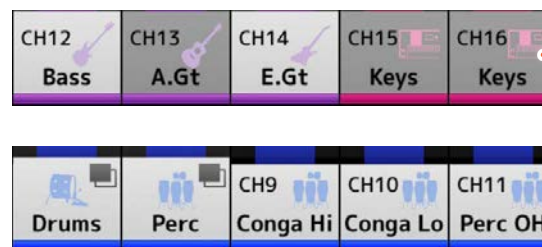
② チャンネル/バス情報表示

各チャンネルとモニターバスのナンバー、ネーム、カラー、アイコンが表示されます。このアイコンを長押しすると、チャンネルやバスのオン/オフを切り替えできます。オフの場合はグレー表示になります。モニターバスのアイコンをタップすると、EQのポップアップメニューが表示されます(対応機種のみ)。EQの設定は [16ページ](#) を参照してください。ミキサーにPINを設定している場合は、PIN 認証画面が開きます。

チャンネルをグループ化したときに作成されるグループメインチャンネルには、グループアイコンが表示されます。タップするとグループ化されているチャンネルの表示/非表示を切り替えられます。グループ化は PERSONAL GROUP & ORDER 画面 ([18ページ](#)) で設定します。

NOTE

長押しによるオン/オフは、設定により無効にすることができます。



チャンネルオフ

③ バスフェーダー / レベルメーター

自分のモニターバス全体の出力レベルを調節します。フェーダーの可動域のどの部分をドラッグしても操作できます。ドラッグ中にバスフェーダーの領域外に移動して上下にドラッグするとより細かい単位で調節できます。

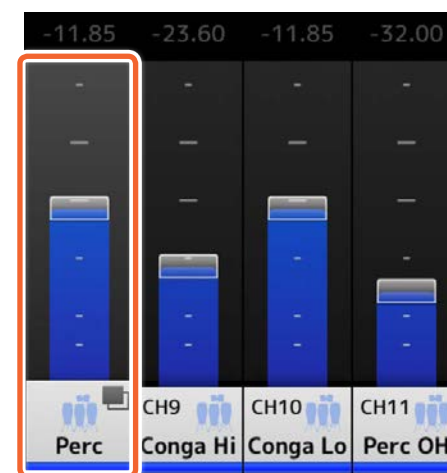
レベルメーターは、ステレオバスの場合はL/Rの2本で、モノラルバスの場合は1本で表示されます。メーターポジションはポストON(ミキサーのONボタンの直後)に固定されています。



グループ化されたチャンネルの操作

グループ化されたチャンネルは、グループメインチャンネルに格納され、グループアイコンをタップすることで表示 / 非表示を切り替えられます。チャンネルごとにレベルのバランスを調整したあと、グループメインチャンネルでグループ全体のレベルを調整します。グループメインチャンネルでは、グループ化されたチャンネルの相対的なレベルバランスを保持したまま全体のレベルを操作できます。

チャンネルのグループ化はPERSONAL GROUP & ORDER画面 ([18ページ](#)) で設定します。



グループメインチャンネル

EQ 画面

モニターバスのEQを設定します。

① [ON] ボタン

タップしてEQのオン/オフを切り替えます。オンのときは点灯します。

② [HPF]/[LPF] ボタン

タップしてハイパスフィルター、ローパスフィルターのオン/オフを切り替えます。オンのときは点灯します。

③ EQ タイプ切り替えボタン

タップしてEQタイプを選択します。タイプによって周波数特性カーブ、グラフ外枠の一部の色が変わります。

④ EQ パラメーターの保存先の切り替え

EQのパラメーターの保存先(A/B)を切り替えます。

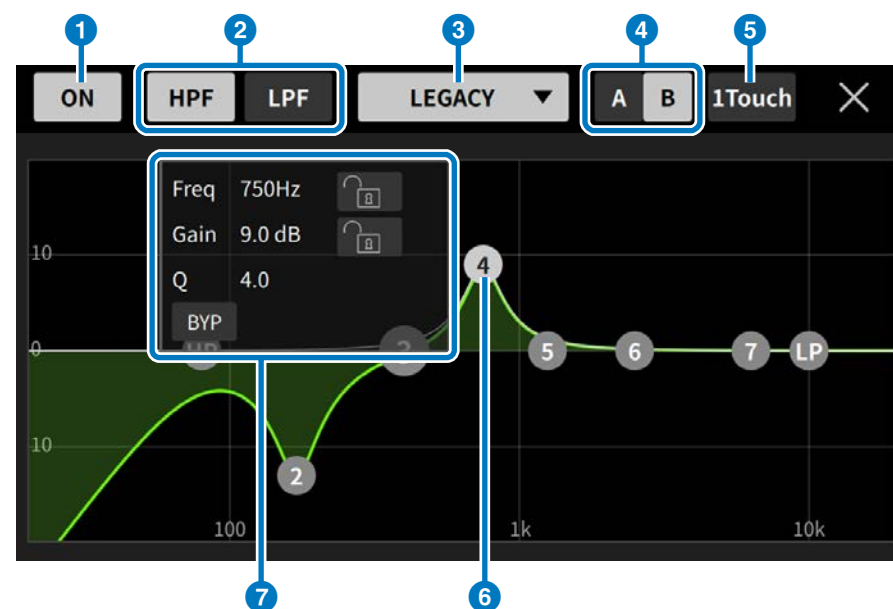
⑤ [1Touch] ボタン

オンにした状態でEQグラフを上下にスライドすると、すべてのバンドのゲインを一括で変更できます。

⑥ バンドの操作

各バンドは次の操作が可能です。

- 横方向へのドラッグ：周波数の変更
- 縦方向へのドラッグ：ゲインの変更
- ピンチ：Q値の変更
- ダブルタップ：ゲインを0 dBに設定
- タップ：バンドのパラメーターウィンドウの表示



⑦ パラメーターウィンドウ

パラメーターウィンドウでは、次の操作が可能です。

- 周波数の固定
- ゲインの固定
- バイパスのオン/オフ切り替え
- シェルビングのオン/オフ切り替え
- フィルター傾度の変更 (HPF/LPFを選択した場合のみ)

PAN 画面

各入力チャンネルの、自分のモニターバスでのパン/バランスを設定します。

PAN画面は、モノラルバスでは表示されません。

① PANコントロールバー

バーの領域を上下にドラッグして、各チャンネルのPANを操作します。ダブルタップするとセンター位置になります。

PANの位置はオレンジ色のバーで表示されます。また、センター位置は緑色の線で表示されます。

ステレオチャンネルの場合は、ミキサー側のPANモードとBALANCEモードの切り替えによって動作が変わります。

PANモードの場合はLチャンネルとRチャンネルそれぞれ独立してPANの調整ができます。

BALANCEのモードの場合は、LチャンネルとRチャンネルのPAN位置が常に連動します。

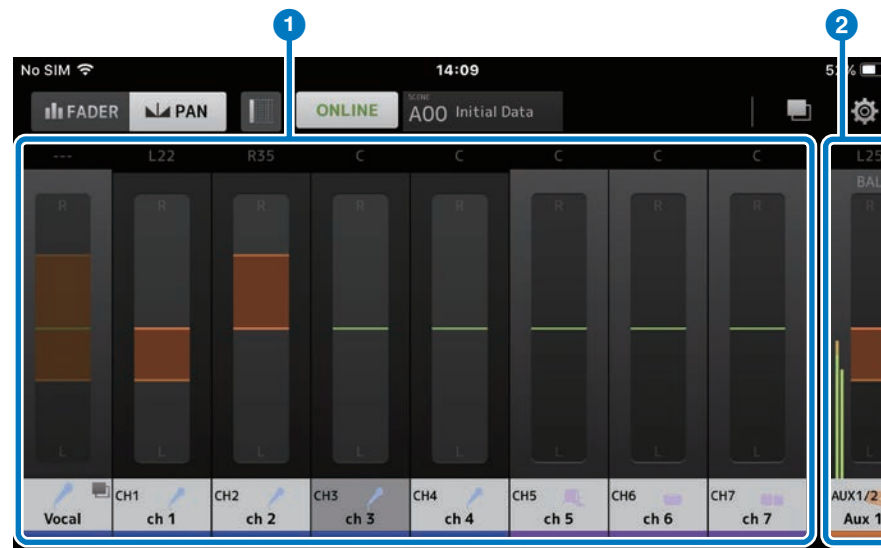
NOTE

- 自分のモニターバスのPan Linkが有効になっている場合は、PAN画面は表示されますがPANの操作はできません。ただし、TFシリーズの場合、Pan Linkが有効になっていても、STIN/FXRTNチャンネルのPANは操作できます。
- 自分のモニターバスがステレオで、BUS TYPEがFIXEDの場合は、PANコントロールバーが表示されません。

② バスバランスバー

自分のモニターバス全体の左右のバランスを調節します。

バランスの位置はオレンジ色のバーで表示されます。また、センター位置は緑色の線で表示されます。



PAN モードの場合



BALANCE モードの場合

PERSONAL GROUP & ORDER 画面

グループに含めるチャンネルの編集や各チャンネルの並び替えなどを行います。

① チャンネル表示

タップするとチャンネルを選択できます。チャンネルを長押ししてドラッグすると、チャンネルの表示順を入れ替えしたり、すでにグループ化されているチャンネル群に追加したりできます。左右にスワイプすると表示をスクロールできます。

② [Group] ボタン

選択したチャンネルをグループ化します。タップするとグループメインチャンネルの情報を編集する GROUP NAME 画面が表示されます。グループメインチャンネルでは、グループ化されたチャンネルの相対的なレベルバランスを保持したまま全体のレベルを操作できます。

③ [Ungroup] ボタン

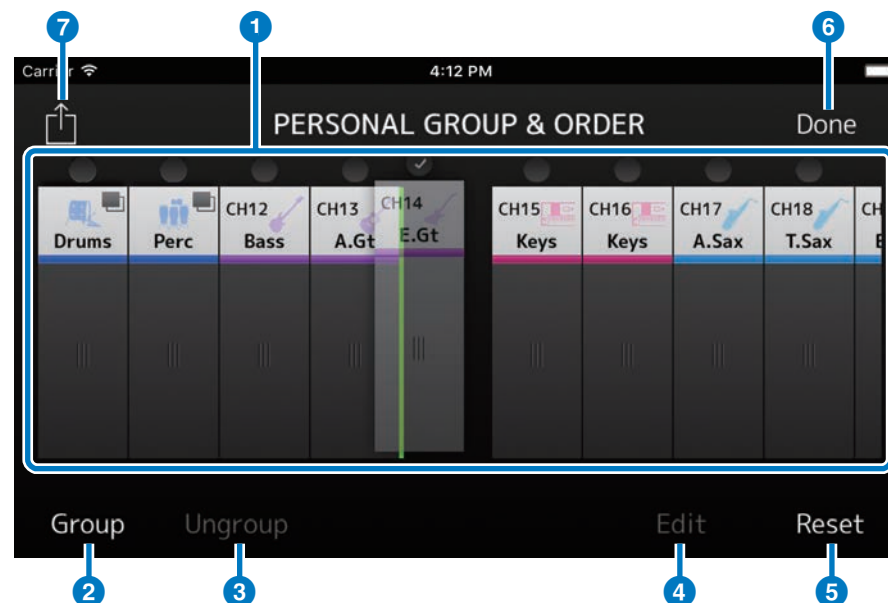
グループ化されているチャンネルをグループから解除します。グループメインチャンネルを選択してタップすると、グループにあるすべてのチャンネルが解除されます。グループメインチャンネルを展開して、個別のチャンネルを選択してタップすると、選択したチャンネルだけが解除されます。

④ [Edit] ボタン

グループメインチャンネルを選択している状態でタップすると、グループメインチャンネルの情報を編集する GROUP NAME 画面が表示されます。

⑤ [Reset] ボタン

すでに存在しているグループの名前、カラー、アイコンをすべて削除して、チャンネルの並び順を初期化します。



⑥ [Done] ボタン

PERSONAL GROUP & ORDER 画面を閉じて FADER 画面に戻ります。

⑦ [Share] ボタン

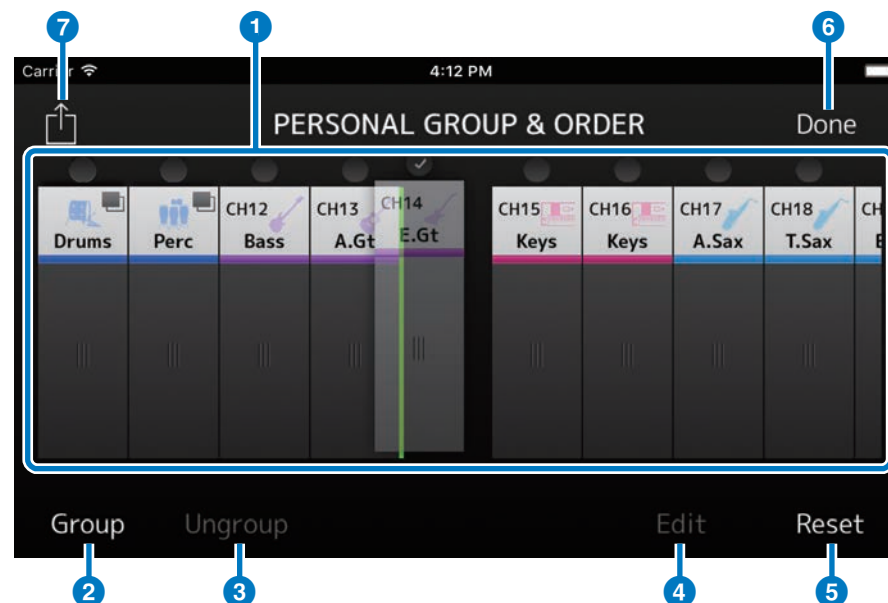
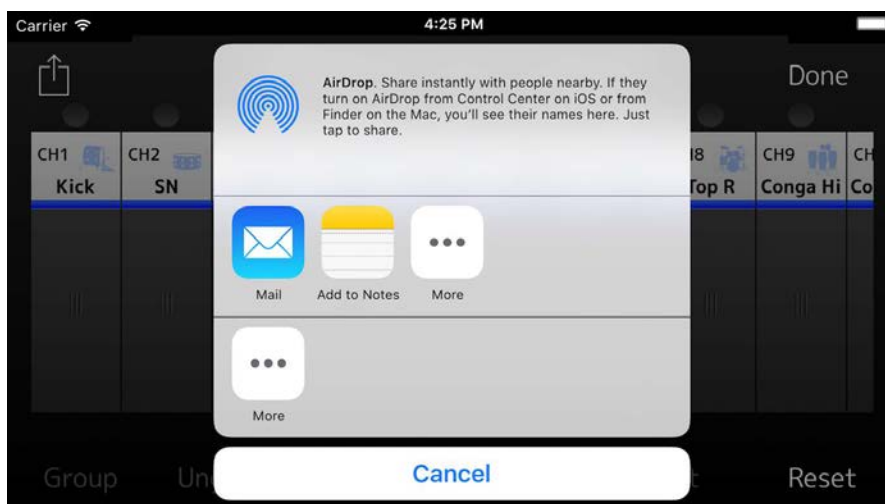
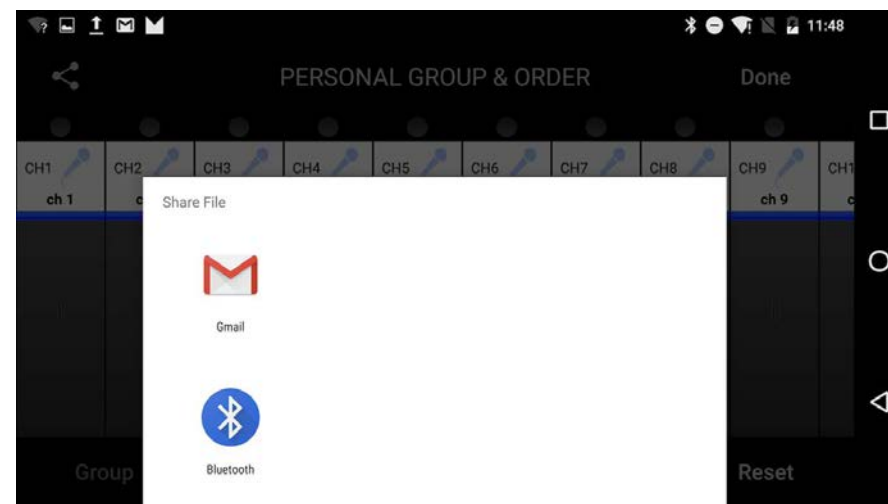
PERSONAL GROUP & ORDER 画面で設定した内容を、MonitorMix がインストールされているほかのスマートデバイスに送信して共有します。

共有の方法は、Mail、AirDrop (iOS)、Bluetooth (Android) から選択します。

Mail を選択したときは、デバイスのメールソフトが起動して、設定ファイル (拡張子.xml) を添付ファイルとして送信できます。

NOTE

USB ファイル共有 (Android) でも設定を共有できます。

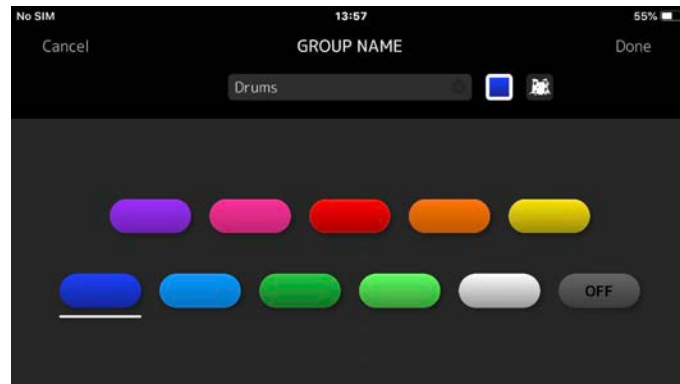


GROUP NAME 画面

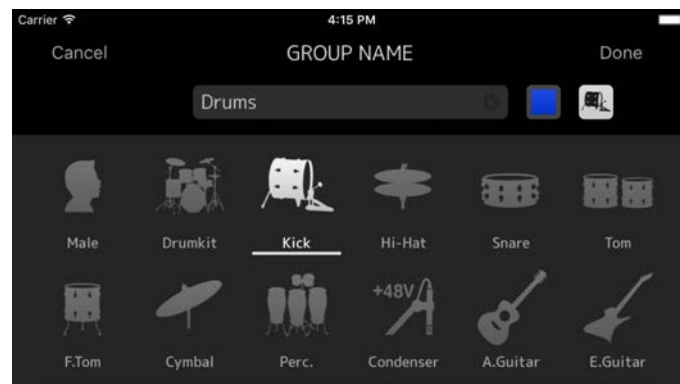
グループの情報を編集します。

グループの名前を付けたい場合は、[Group] ボタンもしくは [Edit] ボタンを押してください。入力画面を表示できます。

グループチャンネルのカラーを選択したい場合は、カラーボタンをタップしてください。グループチャンネルのカラーを選択する画面が表示されます。



グループチャンネルのアイコンを選択したい場合は、アイコンボタンをタップしてください。グループチャンネルのアイコンを選択する画面が表示されます。



SETTINGS 画面

ユーザー設定やバージョン情報の確認をします。

設定した内容は、インストールしたデバイスに保存され、MonitorMixを終了しても保持されます。

① Fader Cap

フェーダーのつまみの表示 / 非表示を切り替えます。

② Fader Sensitivity

フェーダーの領域をドラッグしたときの感度を設定します。初期値は x1.0（指でドラッグした距離）です。x0.1 に設定すると、指でドラッグした距離の10分の1動きます。

設定範囲: x0.1 ~ x1.0（初期値）

③ Number of faders

1 ページあたりに表示するフェーダー数を設定します。

設定範囲: 4 ~ 8（初期値） ~ 16

④ Channel Name text size

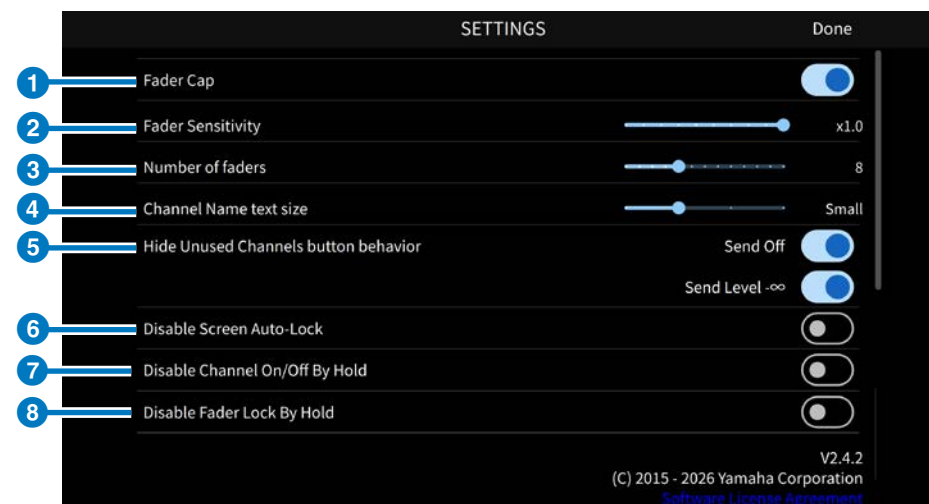
チャンネル名の文字の大きさを設定します。

設定範囲: Extra Small、Small（初期値）、Medium、Large

⑤ Hide Unused Channels button behavior

ツールバーにある [Hide Unused Channels] ボタンの動作を設定します。Send Off が有効なときは、SEND オフのチャンネルが非表示となります。Send Level -∞ が有効なときは、SEND レベルを -∞ に設定しているチャンネルが非表示になります。どちらもオフに設定すると、ツールバーの [Hide Unused Channels] ボタンが無効になります。

設定範囲: 有効（初期値）、無効



⑥ Disabled Screen Auto-Lock

OS の画面自動ロック機能のオン / オフを切り替えます。

⑦ Disable Channel On/Off By Hold

長押しによるチャンネルのオン / オフを切り替えます。

⑧ Disable Fader Lock By Hold

長押しによるフェーダーのロックを切り替えます。

困ったときは

SELECT MIXER 画面で接続先のミキサーが表示されない

- ・準備 ([5ページ](#)) を参照して、ミキサーの設定、Wi-Fiの設定、スマートデバイスの設定を確認してください。

接続できない

- ・モバイル通信がオンの場合、オフにしてから接続してください。